

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600066	事業の開始年月日	平成19年4月1日
		指定年月日	平成19年4月1日
法人名	株式会社 寿エンタープライズ		
事業所名	グループホームいずみ		
所在地	(〒245 -0016) 神奈川県横浜市泉区和泉町7600-4		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員 計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成29年2月13日	評価結果 市町村受理日	平成29年6月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>グループホームいずみは、入居者様の気持ちを大切にしながら「ゆっくり、一緒に、楽しく」をモットーにしています。</p> <p>天気の良い日は、庭に出てお茶を楽しんだり散歩したりと穏やかな日々を送っております。職員との共同作業として、段ボール、ペットボトルのキャップ、を使用し季節毎の飾りを作成したり、紙芝居を手作りしています。</p> <p>レクリエーションの一環としてラジオ体操をはじめオリジナル体操を毎日元気に行っています。</p> <p>地域との交流としては、獅子舞・初詣・こいのぼり大会・盆踊り・子供神輿・子供太鼓などがあります。</p> <p>ボランティアさんによるマンドリン・ギター演奏や、いけ花・習字・踊り・お琴などの協力があります。</p> <p>月々の行事やイベントは入居者様、ご家族様や近隣の方々と共に楽しんでおります。</p> <p>敷地内の畑では四季折々の野菜を収穫し、調理を行い季節感を味わって頂いております。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成29年3月31日	評価機関 評価決定日	平成29年4月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】</p> <p>◇利用者の安全に対する諸取り組みの実施 毎月、利用者が参加する避難訓練を行っており、うち年2回は、消防署員が立ち会い夜間を想定した避難訓練を行ない、地域住民も参加している。</p> <p>◇職員の資質向上に向けた研修への取り組み 職員は、虐待の防止や認知症への理解、寝たきりへの予防、緊急時対応、看取りなどについて外部研修に参加し、持ち帰り、施設内で伝達・講習をして職員に周知している。</p> <p>◇地域住民との活発な交流 正月には地域の獅子舞が事業所に来、夏祭りには駐車場を子供神輿の休憩場所として提供し、お礼を兼ね利用者が子供達にお菓子を配り、夜は盆踊りに参加し、また、事業所の行事に地域住民を招待している。又、習字、生け花、ギター、マンドリン、ハーモニカ演奏など地域ボランティアを数多く受け入れ、利用者にとって楽しみのある活動の場になっている。</p> <p>【事業所が工夫している点】</p> <p>◇変化に富んだ生活への工夫 利用者の好みを聞いて、職員の手作りによる行事食や誕生日のケーキ等、利用者に喜ばれる工夫をし、食器やテーブル拭きの手伝い、近くの遊水地へ散歩、脳トレ学習、生け花、習字など日常生活に変化と活気を持たせている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームいずみ
ユニット名	カボチャユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関と事務所の目の届く場所に掲示しています。毎月会議の中で月々の目標を決めて、朝の申し送り時に再確認し、必要に応じて話し合いを設けています。年間目標を朝の申し送り時に唱和しています。	・理念は「愛と思いやり、個人尊重、生活のリズム、地域に愛される」をキーワードとしている。 ・理念を事務室に掲示し、全体会議やユニット会議で確認し意識付けをして、日々のケアに反映している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、夏祭りや、どんど焼きには、入居者様と共に参加し、ふれあいを大切にしています。ホームでの行事には、地域の方をご招待し親睦を深めています。	・自治会に加入し、こいのぼり大会や盆踊りなどの地域行事に出かけている。 ・子供神輿の休憩場所を提供し、ボランティアを受け入れて生け花、習字、ギター、マンドリン、ハーモニカ演奏などを楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの新聞「ふれあい」を、自治会の回覧板に入れてもらったり、掲示板にも掲示してもらい、ホームの理解を得ています。散歩のときなど近隣の方とのふれあいや会話をしたりと認知症への理解を深めて頂けるようつとめています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を通して地域との交流を深め、地域の方々から、地域の催事などの情報を得ています。ホームでの行事や事故についての報告を行い、意見交換や指導を頂いています。	・自治会関係者、民生委員、区役所と地域ケアプラザの職員、家族代表、事業所関係者をメンバーとし、2か月ごとに開催している。 ・事業報告の後、転倒事故予防、レクリエーション内容など多岐にわたり意見交換をしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通して、情報提供を行うと共に、空き室の状況のFAXを送信し、協力を得ています。生活保護担当者とは連絡を密にして、相談・指導を受けています。	・介護認定の更新等の諸手続きのほか、事業所の運営上の相談や指導を通じて、区役所職員とは密に連携している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	家族会の意向をふまえた上で、外部からの不審者の侵入の心配もあり、安全の為に玄関と各階の入口は施錠することで安全対策としています。	・身体拘束防止委員会があり、フロア会議などで拘束の事例をあげて拘束をしないケアを徹底している。 ・安全のために玄関は施錠しているが、フロア内は自由に行き来できる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加し、職員会議にて報告し、虐待防止を共有し、精神的な苦痛への配慮をして、カンファレンス時などに、共通認識を持つことに努めています。（声掛けの仕方・言葉使いなど）		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を、すでに利用している入居者様については、後見人と情報交換を行い、連携を取り合っています。勉強会を行い職員の理解を深めるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に、出来る限り利用者様やご家族様に見学をお願いしています。施設の雰囲気を感じて頂き、不安の軽減に努めています。契約時にも十分時間を取って説明し、疑問・質問にお答えし、納得を得た上で安心して入居頂けるよう心掛けています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各階に意見箱を設けています。面会時には、個別に意見等をお伺いし、家族会にて再度話し合い、その意見を反映していけるよう努めています。失踪された入居者様がいらしたことから、家族会でのご要望により施錠しています。	・利用者の意見は日常生活の中で聞き、家族の意見は来訪時や年3回開催の家族会で聞いている。 ・把握した意見は申し送りノートに記録し、フロア会議などで話し合っ てケアに反映している。ケア方法に関する意見が多い。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や、ユニット会議にて意見を出し合って検討して、業務に反映しています。必要に応じて本社からも担当者が同席し、意見や提案を取り入れ、反映させています。	・全体会議、ユニット会議を隔月に行い、職員の意見を把握している。 ・レクリエーションの内容、介護方法、利用者を移動するときの注意点などの提案が多い。可能なものは直ちに実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間休日120日の確保と、シフトに融通性を持たせて、働きやすいようにしています。 突然の欠勤には、シフトに工夫をこらし、人数的に確保できるようにしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修には積極的に参加し、内部では、全体会議を通して勉強会をしています。他の施設との交換研修を行う事で情報を収集し、得た内容は職員間で共有して、スキルアップに繋がっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の、研修・意見交換会に出席し、情報収集をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談後、実地調査にお伺いして、実情を把握することによって、ご本人様との信頼を築いています。 入居後、行動や表情の変化を見守り、声掛けなどを行いながら、御本人様に寄り添い、不安を和らげるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方が話しやすい雰囲気作りをし、その思いに耳を傾け、御家族様の不安を取り除けるように努めています。見学時には年間行事の写真をご覧いただき、ホームへの理解の一助としています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームが、どのような場所であるかをお伝えし、ご理解いただく。御本人様の状態やご家族様の心境などに配慮し、サービスを開始しています。前もってご要望などの思いを書いて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共用スペースの清掃や、食器拭きなどを職員と共に行っています。入居者様と職員で季節の飾り物や、カレンダーを共同で製作しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へは、入居者様のホームでの生活の様子を、毎月のお便りにて報告し、行事や家族会へのご参加を頂いております。来設頂いた折には、ご家族様の思いや、ご要望をお聞きし入居者様の支援に反映しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	明るく丁寧な対応をし、気軽に訪問していただける環境づくりをしています。行きつけの美容院や、病院受診など、ご家族様の協力を得ながら支援に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3か月に一回は、利用者の知人の来訪があり、居室でゆっくり過ごしてもらっている。 ・利用者の馴染みの場所（美容院など）に、家族の協力のもとで出かけている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや散歩等を通し、利用者様同士が会話を楽しんだり協力し合えたりする関係を築けるよう支援しています。毎月製作する壁飾りやカレンダー作りは、個々の能力や個性を生かし、皆で作る喜びを共有し合えるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、行事などにお誘いしたり又、次の入居先へ訪問や面会に出掛け、交流の場としております。郵便物の返送の折には、近況を伺ったりし、相談支援も行っております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様やご家族様との会話の中で、どのような事を希望されているかを把握すると共に、話しやすい関係をつくっています。意思の表出が難しい入居者様は、日々の生活の様子を観察し、望んでいることを理解できるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活での会話を通じて利用者の思いを把握している。表出困難な場合は表情や仕草から判断し、職員が問いかけて確認している。 ・外食のメニューを事前に入手して意向を確認したり、行きたい場所を聞いている。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の今までの暮らしを尊重し、日常生活で行ってきたことは、ホームでも継続できるよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを崩す事のないように、現状把握に努めています。小さな変化を見逃さず、状況を把握しながら支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人様やご家族様の望んでいることを把握し、日常の変化など、職員間で情報を共有しています。ケアカンファレンスで話し合い、介護計画に生かして役立てています。	・医師のアドバイス、家族の意見を聞き、全職員が参加して毎月ケアカンファレンスを開催している。 ・生活記録、モニタリングシート等を活用し、6か月ごとに介護計画を見直し、家族の承認を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の個々の身体状況や、言動の変化などを記録する。職員間で共有・理解して確認の上、ケアに生かしている。又、新たな変化も随時記録・伝達して計画の見直しに生かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様・ご家族様の今現在のニーズの把握に努める。個々の生活史を尊重し、ケアプランに準じながらも、柔軟に変化させたサービスの提供を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアとの交流を、施設行事への来賓としてのお招きや、レクリエーションを共に楽しむという形で行っております。又、地域の行事に参加させて頂くなど、相互の交流が発展的に行われております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問内科医・訪問看護と情報の共有をして、チームによる健康管理の支援を行っている。また、訪問歯科による口腔衛生管理を行っている。かかりつけ医や他の医療機関への受診希望には、柔軟に対応しています。	・内科医の隔週往診、歯科医の毎週往診があり、訪問看護師による健康確認を毎週行っている。 ・医師の指示、アドバイス内容は生活記録に記載し、訪問看護師のバイタルデータなどは訪問看護記録に記載して、職員が共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期の訪問看護の際、それぞれの入居者様の日々の情報を伝え、共有しています。入居者様に異変がある時は、随時、助言・指示を受けられる体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携している医療機関には、定期的な訪問時に情報提供をしている。他の病院でも家族と医師の話し合いには、可能な限り同席をさせて頂き情報収集を行い、治療が速やかに出来るよう支援しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療機関・訪問看護と連携し、利用者様・ご家族様と職員との話し合いを密にして、利用者様に最良と思われる治療や、安楽な生活を実現できるよう努めています。又、精神面にも、不安を軽減し、その人らしい終末期を迎えられる様努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や終末期に向けた事業所の対応指針があり、家族、医師、看護師と密に連携しながら、家族の意向に沿って適切に対応している。 ・横浜市の研修会、訪問看護師によるアドバイスなどで職員が対応や心構えを学んでいる。 	看護師や看取りを経験した職員のアドバイスを通じて、重度化や終末期を迎えた利用者への介護方法と職員の心構えについて、更なる学びを重ねることが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に必要な情報を一つのファイルにまとめ、見やすいところに設置しています。消防署の出張研修を依頼したり、防災委員が研修会に参加して、他の職員にも情報を共有し、勉強会を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	月に一回19日に防災に関するさまざまな取り組みを行っています。消防署立会いの下、夜間を想定して避難訓練を行っています。地域の方の連絡先を緊急連絡網に載せさせて頂いたり、訓練に参加いただいたりしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が参加して毎月避難訓練をしている。年2回消防士が立会い指導している。消火訓練に地域住民も参加している。 ・3日分の食料の備蓄があり、リスト化して管理している。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の今までの生活環境や生き立ちを理解し、その方に合うような不快感を与えない言葉掛けや対応を行いながら、一人ひとりの利用者様の日々の生活をサポートしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議やユニット会議でプライバシー確保や接遇の大切さを学び、その人にあった言葉かけや対応を心がけている。 ・トイレ誘導や入浴介助時にはプライドを傷つけないよう、さりげないケアを行っている。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外食会のメニューなど、入居者様を選べるように提示したり、日常の飲み物など、好みを伺って提供しています。レクリエーションの選択などで、自己決定への支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お食事の時間や、レクリエーションの時間などは決まってはいるが、利用者様のその日の体調や、内面的なことを把握・理解しその人のペースを優先して支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	施設への訪問理美容を利用されたり、馴染みの美容院に出掛けたりと、利用者様の自由な選択にお任せしています。又、イベントや外出時には、洋服選びなどを、お手伝いするといった支援も行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしのひげ取りや、インゲンの筋取りなどといった、料理の下ごしらえや、手作りおやつ作りを職員と共に行っております。	<ul style="list-style-type: none"> ・献立と食材は外部に委託し、利用者の好みに合わせて調理している。 ・利用者はできる範囲で料理の下ごしらえやテーブル拭き、食器拭きを手伝っている。 ・誕生会には職員手作りのケーキで祝い、又、外食を楽しんでいる。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取制限のある方や、嚥下障害などその方にあった食事形態で提供しています。食事量や水分量を毎日・毎食記録して、適正な食事・水分の摂取量や栄養バランスの確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは、入居者様一人ひとりに合った対応をし、毎食後に必ず行っていただいています。また、定期的に訪問歯科により、口腔ケアを実施し清潔保持に留意して病気の予防につなげています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の、心身の状況を見極めながら、自立を旨として、支援すると共に排泄状況を記録し、尿・便意のない利用者様には、排泄への誘導をさりげなく行い、トイレでの排泄が出来るよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の排泄パターンを把握し、利用者の様子や時間を見計らって声掛け誘導して、トイレでの排泄を支援している。 夜間も睡眠を妨げないように注意し、トイレ誘導している。 声掛け誘導は、さりげなく、プライドを傷つけぬよう配慮している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日の水分量を記録して把握し、適正量の摂取を確保すると共に、乳製品や繊維質の摂取を心掛けています。また、運動なども日常生活に取り入れて楽しみながら、自然排便に繋げています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	どのようにしたら、スムーズに入浴していただけるかを考えながら、その方に合わせた入浴を支援しています。リラックスして、気持ちよく入浴してくださるよう心がけており、普段は話されないようなことも話されたりしています。	<ul style="list-style-type: none"> 週に3回の入浴を基本とし、入浴したがる人には、時間や日にちをずらして声掛け誘導をしている。 菖蒲湯と柚子湯で季節感を楽しんでいる。 入浴を職員と1対1でゆっくり話せる機会と捉え支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節に合わせて室温を調整すると共に、冬季には加湿器、または濡れタオルなどにより、湿度も調整する事によって、安眠につながるよう支援しています。又、昼食後に午睡を取っていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を所定の場所に保管し、随時確認できるようにしている。日々の利用者様の状態を医師に報告し、薬を処方して頂いてます。服薬時は、氏名・日時・薬袋数を点呼し、カップに薬を入れ、2名の職員の目視確認により、服薬して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみながら体を動かせるようなレクリエーションを考慮して、支援しています。張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を生かした役割・楽しみごとが出来よう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	健康管理に留意し、外気浴や散歩を行っています。ボランティアさんの協力のもと、四季折々の景色や花を楽しんでいただいております。年2回ほどの外食は、お好みのメニューを選んでいただき、ご家族様に参加頂く事もあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日には、近くの遊水地を散歩している。また、1日に1度は玄関前の駐車場で外気浴を楽しんでいる。 ・年2回の外食や初詣、花見などに加え、家族の協力のもと、外食、外出の機会を設けている。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様のご意向に沿えるように、ご家族様との連絡相談を密にして、ご協力いただいております。職員による代行については、会議などで話し合い適宜代行しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様とのお電話の際は、他の利用者様にも配慮しながら、居室で話していただくなどの支援をしています。また、入居者様へのお手紙などは、ご本人様にご覧頂き、のち整理保管していつでもご覧頂ける様にしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング等の共用空間に、季節が感じられるカレンダーや塗り絵、壁飾りなどを掲示しています。トイレ、居室、浴室などには、貼り紙をする等してわかり易くしています。照明・空調等入居者様の安全や体調に配慮し、こまめに調整しています。	・居間は広く明るく清潔で、温・湿度、照明、換気に配慮している。 ・居間には手作りカレンダーや季節が感じられる近隣で摘んだ野花を飾り、また、行事や外出の写真を飾るなど、季節感を演出したり話題作り に配慮した空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席やソファ、畳コーナーなど、さまざまな居場所を造っています。またリビングには、常時パズル、塗り絵、本などを置き、自由に楽しんで頂ける様、配慮工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人様が使い慣れた、思い出のある家具を出来るだけ使っていただいたり、新しく購入する場合も、安全の観点からアドバイスさせていただいたりしています。また、ご家族様の写真や絵などを飾っていただいております。	・エアコン、クローゼットが設置された居室に、使い慣れた家具や仏壇などを持ち込み、壁には家族の写真などを貼り、心地良く落ち着いて過ごせるように工夫している。 ・居室担当職員が、季節に応じた衣服の入れ替え、寝具の管理などを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口やトイレなどに、利用者様がわかりやすいよう、名札やポスターなどを表示している。また、食器拭きや掃除など、できることはして頂き、危険の無いよう見守り支援をしている。		

事業所名	グループホームいずみ
ユニット名	トマトユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関と事務所の目の届く場所に掲示しています。毎月会議の中で月々の目標を決め又年間目標を朝の申し送り時に唱和し、再確認しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、夏祭りや、どんど焼きには、入居者様と共に参加し、ふれあいを大切にしています。ホームでの行事には、地域の方をご招待し親睦を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの新聞「ふれあい」を、自治会の回覧板に入れてもらったり、掲示板にも掲示してもらい、ホームの理解を得ています。散歩のときなど近隣の方とのふれあいや会話をしたりと認知症への理解を深めて頂けるようつとめています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を通して地域との交流を深め、地域の方々から、地域の催事などの情報を得ています。ホームでの行事や事故についての報告を行い、意見交換や指導を頂いています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護担当者とは、月1回面会し、入居者様の生活情報を伝え、相談、指導を受けています。地域ケアプラザとは、ケアマネ連絡会等の勉強会に参加し、意見・情報交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	家族会の意向をふまえた上で、外部からの不審者の侵入の心配もあり、安全の為に玄関と各階の入口は施錠することで安全対策としています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議などで、虐待防止について勉強会を行っております。。又、接遇委員の活動では、言葉による虐待について、等といった具体的な事柄について学び、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度をすでに利用している入居者様については、後見人と情報交換を行い連携を取り合っています。勉強会を行い、職員の理解を深めるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に、出来る限り利用者様やご家族様に見学をお願いし、施設の雰囲気を感じて頂き、不安の軽減に努めています。契約時には十分時間を取って説明をし、疑問・質問にお答えし、納得を得た上で安心して入居頂けるように心掛けています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各階に意見箱を設けています。面会時には、個別に意見等をお伺いし、家族会にて再度話し合い、その意見を反映していけるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や、ユニット会議にて意見を出し合って検討して、業務に反映しています。必要に応じて本社からも担当者が同席し、意見や提案を取り入れ、反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年間休日120日の確保と、シフトに融通性を持たせて、働きやすいようにしています。突然の欠勤には、シフトに工夫をこらし、人数的に確保出来るようにしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修には積極的に参加し内部では、消防署員立会いのもと、「救護実施訓練」を行いました。また「拘束・虐待防止の研修」や「食中毒感染予防」等の研修も行いました。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会の研修・意見交換に出席し情報収集をしています。他の施設との職員の交換研修にも参加し、サービスの質の向上に役立てています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	当ホームが、どのような場所であるかをお伝えし、ご理解いただく。御本人様の状態やご家族様の心境などに配慮し、サービスを開始しています。前もってご要望などの思いを書いて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム見学など、いつでもホームでの生活の様子を見て頂けます。また、疑問などにもお答えして、出来る限り不安を取り除き、安心して生活がスタートできるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームが、どのような場所であるかをお伝えし、ご理解いただく。御本人様の状態やご家族様の心境などに配慮し、サービスを開始しています。前もってご要望などの思いを書いて頂いています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の場であり、一つの家族という認識のもとに、掃除や食器拭きなど、職員と共に出来ることを行い、助け合い、支え合って日常生活を送っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームでの生活を近況報告でお伝えすると共に、ご家族様との関係を大切にして頂けるような機会を設けています。行事や家族会にて、御本人様・ご家族様・職員の関係が密になるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご入居前に暮らしていたお宅や、町・ご家族様と接することが大切である事をお伝えし、できるだけ外出できるように支援します。また、ご友人の方なども訪問しやすい雰囲気作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性や、利用者様同士の関係を把握し、それぞれの個性を生かしながら、より良い環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も、行事等へのお誘いの電話やご案内をしてこれまでの関係性を大切にしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を、普段の生活の中で、日常会話からくみ取りながら、把握するように努め、ご希望に添えるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族様などと良くお話をし、ご入居前の生活歴や、サービス利用等の把握に努める。生活歴を反映させた、馴染みの暮らしが出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの基本的な生活パターンの把握に努め、心身状態の変化などを、細かく記録して、現状の把握に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様の変化や課題に対し、ケアカンファレンスを行い、医師の指示を仰いだり、御家族様に相談したりする。又意見やアイデアを反映して現状に即した介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様一日の様子や気づき変化などを個人記録に記入し申し送りで職員間での情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常日頃から、利用者様の健康状態を把握する。特変など、異常時は、速やかに訪問内科・訪問看護と連携すると共に、種々期間への送迎・付添といった対応も柔軟にしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域住民の方に行事に参加して頂いて入居者様と交流を深めています。又地域のボランティアを通じ入居者様それぞれの趣味や特技を生かした交流に努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問内科・訪問看護との連携を取ると共に、利用者様が希望する医療機関などへの受診対応等を、利用者様に健康と安心を考慮して対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護等には、日々の心身の状態や情報・気づきを伝え指示を受けながら、利用者様が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問内科・訪問看護と定期的に情報交換をし、入退院時においても適切な対応が出来るように支持協力を得ています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所契約時には、終末期に説明は行っています。重度化・終末期の場合の取組対応としては、本人御家族の要望を取り入れながら、今後の治療に向けての話し合いを行い、医療との連携を密にしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時は訪問内科・訪問看護から、指示を仰ぎ、全職員に周知する救急対応の研修等に参加し、実践力を身に付けるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の協力の元、防災訓練を行っています。また、毎月1回災害時の避難や準備を行っています。地域の方のご協力・ご参加を頂く体制も築いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重し、尊厳を保つよう一人ひとりに合った声掛けを行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で希望や思いを伝える事が出来るような環境作りに努めています。また、一人ひとりの入居者様とお話をする時間を作りそのお話から思いを汲取る事が出来るよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人ひとりの生活リズムやペースを大切に、入居者様の意思や尊厳を保てるよう支援しています。また、状況に応じて個別対応も行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の好みを尊重しその人らしい身だしなみが出来るよう支援しています。また、季節に応じた衣服選び等も行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に献立を話題にした会話をしたり、もやしのひげ取り等、食材に触れて頂く機会を設けています。また食後は食器拭き等手伝って頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量などを記録し、適切な摂取量を把握・確保するとともに、個別対応が必要な利用者様には、日々の生活状態をもとに、毎月のカンファレンスで議題に挙げ、バランスのとれた食事摂取が出来るような対策を考え工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、一人ひとりに合った口腔ケアを実施して頂いています。また訪問歯科にてクリーニングを行う場合もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の生活リズムに合わせてトイレ誘導等を行い支援しています。また、介助が必要な入居者様には定時に声掛け・誘導を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を把握し、個々に応じ飲食物に工夫しています。また訪問Dr・NSと相談しながら排泄支援を行っています。毎日体操を行い、便秘の予防支援をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	バイタルサインや日中のご様子から体調を見極め、入浴して頂いています。また、入浴中に会話・歌などを取り入れ楽しい時間を過ごして頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	かけもの調整を行い冬季には、加湿器を使用しています。パジャマ更衣しメリハリのある様又安眠に繋がる支援をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は、必ず名前を確認し、御本人様の前で名前をお呼びして、再度、確認をしてから服用して頂いています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、利用者様一人ひとりに、嗜好や得意なことをして頂けるように、レクリエーションや体操などを行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設内や近隣に外気浴に行ってます。年2回外食会を企画し参加して頂いています。個々により、外出・外食を御家族様と楽しんでいられる方もいます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の残存能力を見極め必要に応じて代行や同行支援をしております。また、預り金として小口現金ノートを作り管理を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各入居者様の状況や御様子を毎月お手紙や、写真でお知らせし、随時お電話にてお伝えしています。又利用者様の要望に応じ電話を利用して頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング・フロアー内に季節毎に行った行事の写真や装飾品、生花を入居者様と共に飾っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには入居者様同士談話・テレビ鑑賞をして頂いております。御一人ひとり入居者様がお好きな場所を選択出来る様支援しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には御本人の意思を尊重し、家具は使い慣れた物を使用いただき、御家族様からの手紙や写真を飾っています。今迄過ごされていた空間に近い部屋作りに努めています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援が提供できるように、居室やリビングのイスにお名前を書いて、解るようにしています。残存機能を見極め個々の自立した生活を支えています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームいずみ

作成日 平成29年5月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	家族様や職員のメンタルケアの必要性が求められる。	重度化や終末期に向け対応できる職員教育をしていく。	痛みや苦痛の軽減を図り又、精神面にも配慮し、その人らしい終末期を迎えられる様な対応や心得を、定期的に勉強会を組み入れながら学んでいく。	12ヵ月
2					
3					
4					
5					